

2016年5月9日

報道関係者各位

コネクシオ株式会社
株式会社アットマークテクノ

コネクシオとアットマークテクノが共同開発 高性能・小型・低価格 IoT ゲートウェイ

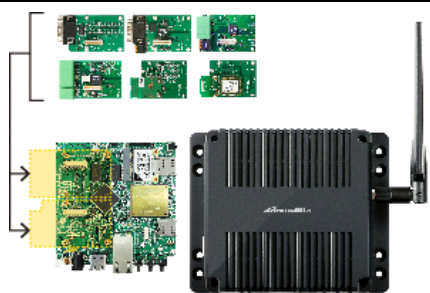

～「Armadillo-IoT ゲートウェイ G3L」で様々な“つなぐ”を実現～

コネクシオ株式会社（以下、コネクシオ）と株式会社アットマークテクノ（以下、アットマークテクノ）は、「ARM Cortex-A7（1GHz）デュアルコア」の高性能プロセッサを搭載した小型で低価格な IoT ゲートウェイ「Armadillo-IoT ゲートウェイ G3L（よみ：アルマジロ・アイオーティーゲートウェイ・ジースリーエル、以下「G3L」）」を共同開発しました。

【製品の特長と比較】

「G3L」は、上位機種「Armadillo-IoT ゲートウェイ G3（以下「G3」）」と同様の「ARM Cortex-A7（1GHz）デュアルコア」の高性能プロセッサを採用しています。IoT 時代に向けて技術が進化する中、クラウド側だけでなく IoT 機器側でも高度な処理を行う「エッジコンピューティング」の重要性が増しており、従来製品に比べて大幅な高速化を実現しています。

また、多彩なアドオンモジュールを選択して柔軟に拡張できる「G3」に対し、「G3L」は、インターフェースを厳選し、標準化することでサイズの小型化を実現するとともに、お求めやすい価格を実現させました。LTE、LAN、WLAN（IEEE802.11a/11b/11g/11n 準拠）の他、スマートメーターの通信規格としても利用されている Wi-SUN に対応しているため、スマートハウス(*1)の実現に必要な不可欠な HEMS 機器(*2)のプラットフォームとしても利用でき、企業向けの小型 IoT ゲートウェイとして最適です。

	Armadillo-IoT ゲートウェイ G3	(今回の新製品) Armadillo-IoT ゲートウェイ G3L
特長	 <p>対応インターフェース： ●RS232C ●RS422 ●RS485 ●Wi-SUN ●EnOcean ●その他省電力無線通信など多数</p> <p>アドオンモジュールの差し替えで、柔軟に拡張できる。産業用特機や PoC (Proof of Concept) に最適</p>	 <p>Armadillo-IoT G3L</p> <p>対応インターフェース： ●LTE ●Wi-SUN ●WLAN ●LAN ●USB</p> <p>汎用インターフェースを標準化し、小型・低価格化を実現。HEMS 機器や企業向け小型 IoT ゲートウェイに最適</p>
サイズ	155.8×125.8×47.0 mm	118.0×57.0×30.2 mm
開発セット価格	59,500 円（2016年6月発売予定）	36,800 円（2016年秋発売予定）
量産モデル価格	オープン価格	25,000 円～(*3)

「G3L」は「G3」と同様に汎用的なLinuxディストリビューション「Debian GNU/Linux」を採用しており、パソコンのように開発を進めることができます。「G3」開発セット（型番：AGX3020-D00Z、2016年6月発売）を利用することで、「G3L」の発売に先行して試作開発・性能評価を行うことも可能です。

*1 スマートハウス：IoT技術などを用いて、エネルギー管理をすることができる住宅のこと。電気やガスなどの使用量をモニター画面などで「見える化」や家電機器を「自動制御」することが可能。

*2 HEMS機器：HEMS（ヘムス）= Home Energy Management Systemの略称。家庭で使うエネルギーを節約するための管理システムを表す。

*3 量産モデルは搭載モジュール等の仕様により価格が異なります。詳細はお問い合わせにて。

【製品説明】

◆ 「Armadillo-IoT ゲートウェイ G3L」仕様

①ハードウェア^[*1]



プロセッサ	NXP セミコンダクターズ製 i.MX 7Dual ARM Cortex-A7 (1GHz) デュアルコア
メモリ	512MB
記憶容量	内蔵 4GB（システム領域含む）、microSD
LAN	100BASE-TX / 10BASE-T, AUTO-MDIX 対応
無線 LAN	WLAN+BT コンボモジュール搭載 (WL1837MOD) IEEE802.11a/b/g/n (最大 150Mbps) ^[*2]
モバイル通信	LTE SIM スロット：マイクロ SIM カード対応 ^[*3]
シリアル(UART)	×1
USB	USB 2.0 (Host/Device ^[*4]) ×1 (High Speed)
カレンダー時計	RTC 搭載
LED	3 個
スイッチ	タクトスイッチ×1
入力電源	DC8V～26.4V
動作温度範囲	-10℃～+60℃ (ただし結露なきこと)
筐体サイズ	137.6×57.0×30.2mm(突起部を除く)

[*1] 設計段階の予定仕様です。[*2] 無線 LAN モジュール搭載時の理論値。[*3] NTT ドコモの LTE (Xi[®]) エリアに対応しているマイクロ SIM カードを利用可能。[*4] Host または Device モードを選択

②ソフトウェア

- Linux プリインストール (Linux 3.14)
- ディストリビューション：Debian GNU/Linux

【製品の展示】

コネクシオとアットマークテクノは、2016年5月11日(水)から13日(金)まで東京ビッグサイトで開催される展示会「第5回 IoT/M2M 展 春」（「Japan IT Week2016 春」内、組み込み開発技術展 (ESEC) と併催）のアットマークテクノブース（ブース No. 西 3-71）にて、「G3L」および「G3」を展示します。

- ◆ 「第5回 IoT/M2M 展 春」 <http://www.m2m-expo.jp/>

【コネクシオ 「G3L 開発と IoT の根幹を支える技術」について】

特殊車両や自動販売機向けをはじめとする M2M/IoT サービスに 30 万台以上の通信機器の納入実績で培ったコネクシオの技術は、新製品 G3L の開発に存分に活かされています。携帯電話販売代理店としての通信に関する豊富な知識をもとに利用環境に応じたハードカスタマイズ、ネットワークとアプリケーションへの負荷を考慮した安全で確実なデータの伝送、時には現地対応も行うきめ細かいサポート等、お客様が提供する IoT サービスの根幹を支えています。

- ・コネクシオ <http://www.conexio.co.jp/>
- ・IoT に関する取組みについて <http://conexio-m2m.jp/>

【アットマークテクノ 「Armadillo-IoT」について】

アットマークテクノは、札幌に本社を構える開発メーカーで、ARM プロセッサ搭載の組み込みプラットフォーム「Armadillo (アルマジロ)」など、自社ブランド製品の開発・製造・販売を行っています。「Armadillo-IoT」は「Armadillo」製品をベースとした堅牢で柔軟な設計のゲートウェイを中心に、IoT の「Things (モノ)」に必須の機能・サービスをまとめて「IoT デバイスプラットフォーム」として概念化したブランドです。パートナー各社が提供する通信回線やクラウドプラットフォームへの対応も進んでおり、センサ接続からクラウド連携まで、ハードウェア周りとその周辺サービスまでを広くカバーしています。

- ・アットマークテクノ <http://www.atmark-techno.com/>
- ・Armadillo および Armadillo-IoT <http://armadillo.atmark-techno.com/>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

◆製品について

- ・コネクシオ株式会社 (IoT・MVNO 営業部)
TEL: 03-5331-3677 FAX: 03-5331-3685 E-mail: m2m@conexio.co.jp
- ・株式会社アットマークテクノ (営業部)
TEL: 045-548-5651 E-mail: sales@atmark-techno.com

◆報道に関して

- ・コネクシオ株式会社 (経営企画部 広報・IR 課)
TEL: 03-5331-3702 E-mail: ir@conexio.co.jp
- ・株式会社アットマークテクノ (企画室)
TEL: 011-207-6550 FAX: 011-207-6570 E-mail: info@atmark-techno.com

※「Armadillo」は、株式会社アットマークテクノの登録商標です。その他このプレスリリースに記載されている会社名および製品名は、各社・各団体の登録商標または商標です。TM および®マークは記載していない場合があります。